

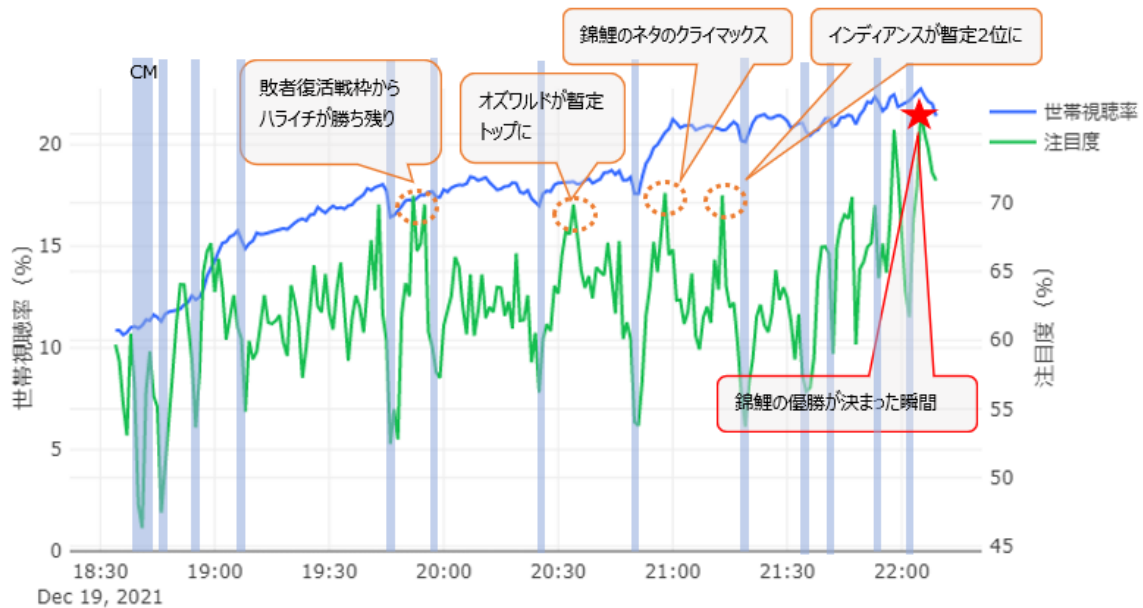
【速報】 2021年M-1グランプリでの注目シーンは？

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンの「視られている量」を測るTVISION INSIGHTS株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下TVISION）は、錦鯉が悲願の優勝を果たした2021年M-1グランプリの注目シーンについて分析致しました。

M-1グランプリ2021 毎分シーン分析

速報値：M-1グランプリ2021

12月19日（日）放送 毎分シーン分析 - 個人全体



※世帯視聴率はTVISION推定

2001年より日本一の漫才師を決めるコンテストとして始まったM-1グランプリ。一度休止期間がありましたが、2015年に復活してからも毎年12月に行われています。優勝者はその後テレビ露出が高くなることから、毎年誰がチャンピオンになるのか注目されている人気番組です。今年は、錦鯉が大会史上最年長のチャンピオンとなりました。そんな今年のM-1グランプリは実際、どのシーンに注目が集まっていたのか、毎分のデータで注目度が高かったシーンを表にしました。

やはり一番注目されたシーンは、錦鯉が悲願の優勝を決めたシーンでした。全体を通して高い注目度が維持されておりましたが、優勝以外で高かったシーンは、敗者復活が決まったとき、ファーストラウンドで高得点を獲得したコンビのネタや得点発表シーン、優勝した錦鯉のネタのクライマックスなどがありました。TVISION推定の世帯視聴率も番組の後半にかけてあがっていき、番組の盛り上がりが見える結果になりました。

※注目度とは？

TVISION独自の指標で、テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合です。テレビのコンテンツに、注目している割合がわかります。

<本件に関する問い合わせ先>

TVISION INSIGHTS株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階

E-mail info@tvisioninsights.com

Tel (担当直通) 050-5468-2785

【TVISION INSIGHTS株式会社について】

TVISION INSIGHTS株式会社は人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。

ご家庭のテレビに、TVISIONが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、ちゃんと見ているか」というTVISION独自のアテンションデータを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組を計測しています。TVISIONでは「新しいデータによってメディアマーケットを圧倒的に進化させる」というミッションのもと、テレビの価値をアテンションデータによって顕在化しています。